

研修医による精神科研修の評価に関する報告書

精神科七者懇談会*

卒後研修問題委員会**

委員長 小島 卓也

アンケート実行責任者 中嶋 義文

1 目的

新卒後臨床研修制度における精神科研修の効果評価を研修終了した平成 16 年度初期研修医によって行うことを目標とした。

2 対象と方法

以下の二つのアンケートを研修指定病院に在勤中の平成 16 年度初期研修医（平成 18 年度に研修開始した後期研修医）に対して配布、回収した。

1) 基本研修アンケート

臨床研修の到達目標に行動目標として掲げられている（1）患者-医師関係、（2）チーム医療、（3）問題対処能力、（4）安全管理、（5）症例提示、（6）医療の社会性の 6 項目に加え経験目標である（7）医療面接を加えた基本研修七項目について、「もっともよく学べた」「比較的よく学べた」科を内科、外科、救急、産婦人科、小児科、精神科、地域医療の中から選択させた。

2) 精神科研修アンケート

精神科研修の目標 22 項目について「そうだ」「大体そうだ」「どちらかでいえばそうだ」「どちらかといえばそうでない」「ほとんどそうでない」「そうでない」の 6 件法で選択させた。精神科研修の有用度、満足度についても評価させ、それにかんするフリーコメントを記入させた。

3 結果

1) 基本研修アンケート

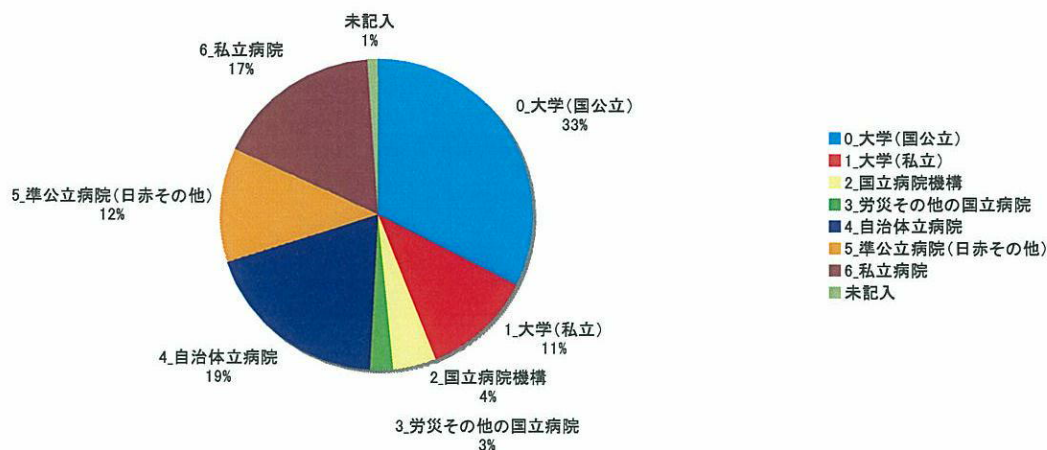
817 の研修指定病院あてに 9495 通を発送し、399 通を回収した。そのうち無効 3 名をのぞいた 396 名を対象とした。これは、厚生労働省発表の平成 16 年度初期研修医 7372 名の 5.4%にあたる。

(1) 回答者属性

(ア) 初期研修先について

初期研修先は大学病院 44%、臨床研修病院 55%であった。

初期研修先の病院の種類(%)N=419(複数選択)



(イ) 現在の後期研修先について

現在の後期研修先は大学 49.7%であった。

現在の後期研修先(%)n=396

